



前橋工科大学、みなさんはどのようなイメージを抱いているのでしょうか。食品や薬品、介護ロボット、道路や橋、あるいはデータ、遺伝子、空間から街づくり。ふだんから目にするもの、あるいは意識はしても見えないもの、人びとの日々の生活や社会の営みを支える、こうした多様な課題に、工科大は取り組んでいます。

社会環境工学科、建築学科、総合デザイン工学科、生命情報学科、システム生体工学科、生物工学科。耳慣れない学科があるかもしれませんが、私たちが向かう将来からの問いかけへの答えが、この6学科となっています。みなさんが工学に求める、また将来社会に出て活躍したい分野は、このなかにきっと見つけることができると思います。「持続可能な循環型社会の構築」を、工科大は目指しています。

人間性と創造性をあわせもち、地域社会のため、また群馬からさらに世界に視野を拡げ、行動できる技術者を育てていきたいと考えています。そして人と科学・工学が紡ぐ21世紀の社会の創出を志す人を、私たちは求めます。

前橋工科大学 学長 星 和彦

大学3つのポリシー

本学は、社会環境工学科、建築学科、生命情報学科、システム生体工学科、生物工学科、総合デザイン工学科の6学科から構成される、工学部単科大学である。大学として、入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）、教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）の3つのポリシーを定めている。多様な特色をもつ6学科では、学科の理念を実現するため、学科ごとに3つのポリシーも定めている。

入学者受け入れの方針 (アドミッション・ポリシー)

- 教育課程編成・実施の方針を修得するために必要な、高校課程の基礎的な学力を修めている人
- 工学に関心を持ち、みずから考え、判断する力を育くみ、何事にも積極的に挑戦しようと考えている人
- 発想力、洞察力、コミュニケーション力を修めるため、持続力をもって学ぼうとする人
- 対話によって気づきを共有することが学びを深めるために大切だと認識する人

教育課程編成・実施の方針 (カリキュラム・ポリシー)

- 卒業認定・学位授与の方針を達成するために必要な、共通教育科目（総合デザイン工学科においては基礎教育科目）、専門教育科目、専門科目（総合デザイン工学科においては専門教育科目）を学修させる
- 工学教育を特徴づける実験・実習・演習をとおして、課題の解決に必要な知識と方法を修得させ、その結果を論理的に発表する力を身につけさせる
- 本学での学修に加え、インターンシップなどの学外活動をとおした実社会との交流も促進し、表現力、協調性、倫理性を涵養させる

卒業認定・学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー)

- 本学がめざす自然と人との共生、持続可能な循環型社会の構築に寄与するための幅広い基礎的な学力、工学の知識と技能を修得し、判断力と実行力を有している
- みずから課題をみいだすことができ、解決に主体的に取り組み、その成果を発表する能力を備えている
- 社会との協働に参画し、専門技術者として果たすべき使命と役割を理解し、倫理観や責任感を身につけている

大学院のポリシー

入学者受け入れの方針(アドミッション・ポリシー)

博士前期課程

- 国内外を問わずに、独創的な発想力と、研究に対する実行力を持ち、専門分野を究めて修士（工学）の学位を取得したいという意欲のある人材を求めています。

博士後期課程 (環境・生命工学専攻)

- 強い意志を持つ修士修了見込みの者及び既に修士修了後に社会で活躍しながら、自己の研究能力の更なる向上を図り、博士の学位取得を目指す人材を選抜する。
また、世界に開かれた研究科との観点から外国人留学生の受入れも積極的に行う。博士後期課程へ入学しようとする者は自身が作成した修士論文要旨や学術論文を提出し、さらに語学（TOEICなど可）と専門に関する記述試験、研究能力に関する口頭試問などを受けなければならない。なお、学業成績優秀者、企業における研究開発などの活動が十分な者に対しては記述試験免除の制度がある。

—— 前橋工科大学 5つの特色 ——

POINT 1

個性が光る幅広い学科 安心の工科系公立大学

地域に根ざす工科系公立大学

平成25年4月に公立大学法人（設立団体：前橋市）に移行した本学は、全国的にも数少ない工科系の公立大学です。地域に根ざす公立大学として、人とまちの快適さを探究する学科を設置、地域の人々や産業界と連携しながら、住民の生命と健康の増進、安全で安心できる環境の形成、豊かな文化の発展を目指し、人とまちづくり、さらには地元産業の発展に貢献しています。



演習・実習・実験などの体験的授業が充実



社会環境工学科

橋梁の設計・製図・模型製作、測量、地盤・コンクリート・水理・環境実験、都市計画・景観分野の実習など、実力を養う実験・実習を数多く行います。



建築学科

建築計画・意匠系、建築構造・材料系、建築環境・設備系に設けている実験授業やワークショップ授業から、その現象を工学的に分析・評価し、自らの実体験から学ぶことができます。



生命情報学科

1年次後期から3年次前期にわたりコンピュータでC言語のプログラムを作成する演習を行い、情報処理能力を修得します。大学院の学生がTA（授業の補助を行う人）となり、懇切丁寧に個別指導します。



システム生体工学科

電気・電子回路実習、生理学実習、組込みシステム実習、応用プロジェクトI・IIでは講義で学んだ内容を体得します。



生物工学科

実験・実習を通して微生物、植物、動物を、分子から個体まで様々なレベルでの取り扱いを学ぶことで、生物の能力を食品や医薬品等に役立てる知識や技術を学びます。



総合デザイン工学科

空間・プロダクトデザイン等に関連するデザイン演習科目では、エスキスやプロトタイプングを通して、複数担当制による多角的なデザイン思考を体験します。

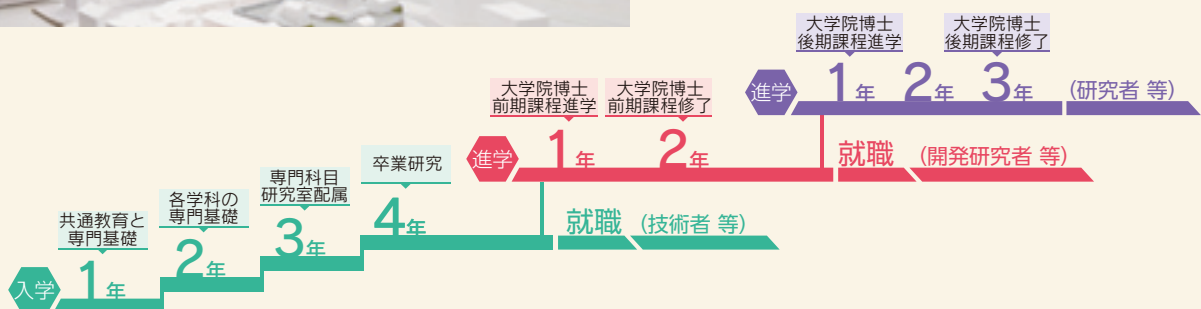
POINT 2

少人数教育できめ細やかな指導

入学定員は1学年300人以下。少人数で講義を行うため、教員と学生の距離が近く、きめ細やかな学習、研究指導を受けることができます。



工学部	入学定員(名)
社会環境工学科	47
建築学科	51
生命情報学科	43
システム生体工学科	43
生物工学科	43
総合デザイン工学科	40
計	267



POINT 3

学びやすい学費 暮らしやすい環境

[学費]

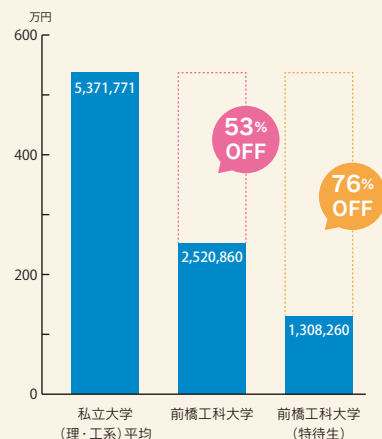
	授業料	入学金	初年度納付金※3
一般	535,800円/年 (総合デザイン工学科 401,800円/年)	282,000円	817,800円 (総合デザイン工学科 683,800円)
市内居住者 ※1	535,800円/年 (総合デザイン工学科 401,800円/年)	141,000円	676,800円 (総合デザイン工学科 542,800円)
特待生 ※2	267,900円/年 (総合デザイン工学科 200,900円/年)	141,000円	408,900円 (総合デザイン工学科 341,900円)

※1 前橋市内居住者とは、入学日の前年から引き続き1年以上前橋市内に住所を有する者、または、配偶者もしくは1親等の親族が引き続き1年以上前橋市内に住所を有する者とする。

※2 前橋市内居住者のうち、一定の条件を満たした者が対象。2年次以降も別途条件を満たした場合は、引き続き特待生となる。

※3 初年度はこの他に諸経費95,660円(総合デザイン工学科は93,760円)が必要。

大学4年間の学費等例



※私立大学 (理・工系) 平均は「文科省：平成28年度私立大学入学者に係る初年度学生納付金平均額」より試算

[環境]

物価の安さ

全国1位

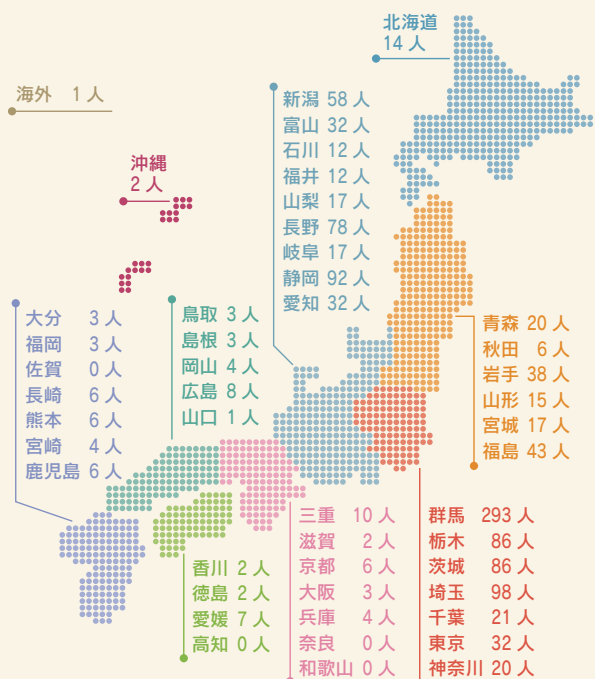
物価水準をあらわす平均消費者物価地域差指数 (全国平均=100)

前橋市 96.2 東京都区部 105.1 (8.9pt LESS)



POINT 4

友達は日本全国から！



令和2年4月1日現在

群馬県外出身者

76.1%



学科名	男子	女子	計
社会環境工学科	177	35	212
建築学科	148	78	226
生命情報学科	180	33	213
システム生体工学科	162	31	193
生物工学科	95	101	196
総合デザイン工学科	116	69	185
6学科合計	878	347	1,225

POINT 5

高い就職率

学部就職率

100%

